



令和8年5月29日
政策統括官付
国土地理院

「ジオ AI 研究会 中間整理」を公表します！ ～ 地理空間情報×AI の融合の推進に向けて ～

内閣官房地理空間情報活用推進室及び国土交通省は、多様な分野の DX を支える地理空間(G 空間)情報の活用が広がる中、急速に進展する AI と融合(地理空間情報×AI)した取組を産学官で戦略的に加速するため、ジオ AI 研究会を立ち上げました。

今般、第1回から第4回までの研究会の議論を踏まえて、「ジオ AI 研究会 中間整理」がとりまとめられましたので、お知らせします。

本研究会では、地理空間情報とAIの融合を広義の概念として「ジオ AI」と定義し、全体の構造・思想を示すアーキテクチャの整理を行い、さらにジオ AI の推進に向けた課題と取組の方向性や産学官の連携・役割について議論を行いました。

<中間整理の主な内容>

ジオ AI は、防災・減災、都市計画・交通、不動産、インフラ維持管理、マーケティング、ロボティクス、観光・物流などのほか、分野横断で複合課題の同時解決や、フィジカル AI^{*1}にも貢献が見込まれます。

本中間整理では、以下の 5 つの観点から取組の方向性を整理しました。

(1)地理空間情報×AI

- ・地理空間情報を適切に処理する AI の開発・活用の検討
- ・ジオ AI のユースケース創出、基礎・共同研究の推進 等

(2)AI-Ready^{*2}なデータ整備

- ・地理空間情報のオープンデータ化、AI-Ready 化指針の策定
- ・公的地理空間情報の整備・更新・AI-Ready 化 等

(3)データ連携・流通基盤

- ・G 空間情報センターの AI 対応化
- ・「G 空間データスペース(仮称)」の形成 等

(4)ガバナンス

- ・信頼性担保、セキュリティ、プライバシー等に関する検討 等

(5)人材育成

- ・GIS と AI 分野の連携強化、コミュニティやイベントを活用した人材育成 等

※1:フィジカル AI:画像・音声・各種センサー等を統合して現実世界を理解し、ロボットや機械を通じて物理的な現場で自律的に判断・制御・行動する AI

※2:AI-Ready:データが AI の理解・活用しやすい形式(構造化データ、メタデータ付与等)になっていること

(添付資料)

別紙1 ジオ AI 研究会 中間整理概要

別紙2 構成員名簿

「中間整理」本文、過去の会議資料等については国土交通省ホームページにて公開しております。下記 URL より参照ください。

https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/tochi_fudousan_kensetsugyo tk17_000001_00072.html

〔問合せ先〕

国土交通省政策統括官付地理空間情報課 森岡、川井、久松

代表:03-5253-8111(内線 29-835、29-823、29-843)、直通:03-5253-8353

国土交通省国土地理院防災・地理空間情報企画センター地理空間情報企画課 山崎、宮之原

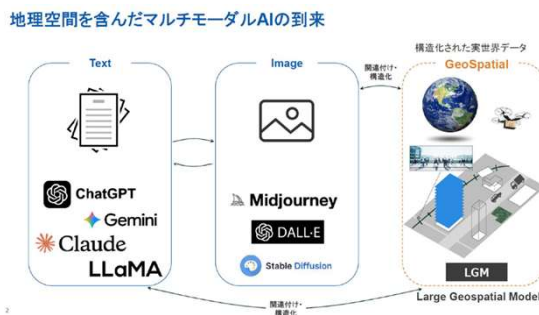
代表:03-5253-8111(内線 59-421、59-422)、直通:03-5253-8139

「ジオAI研究会」中間整理(概要)(令和8年5月)

地理空間情報（G空間情報）とAIの融合（ジオAI）により、より広い分野で、より多くの人に、より深く、G空間情報の活用を推進し、防災・減災やインフラ管理、スマートシティや不動産、ロボティクスや自動運転など、多様な社会課題の解決や生産性向上を図るため、**産学官による取組の方向性を整理。**

1. 課題認識

- 地理空間情報は質・量ともに充実。
- 一方、現状のAIは、地図や地理空間情報の意味解釈が苦手との指摘。



2. ジオAIが目指す姿・価値

- 「地理空間情報を適切に処理できるAI」の構築により、人間の地理空間的・時系列的な認識能力を拡張。（統合性、先行・予防性、迅速性、再現性、拡張性）
- 機能は、AI for GIS（データ整備、可視化・データ分析）やGIS for AI（推論・提案・行動）に分類され、相互補完的な進化を期待。

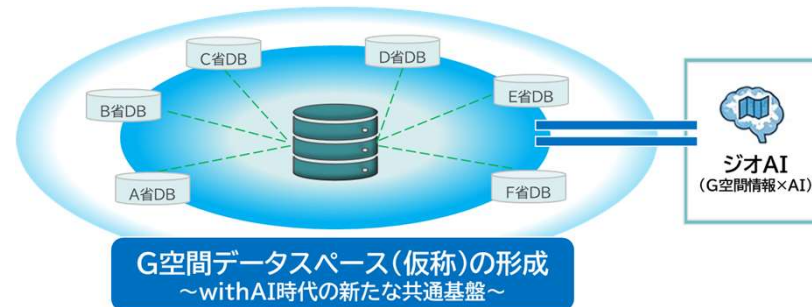
3. ジオAIが期待される分野（例）

- 防災・減災、都市計画・交通、不動産、インフラ維持管理、マーケティング、ロボティクス、観光・物流などのほか、分野横断で複合課題の同時解決や、フィジカルAIにも貢献。

4. 全体アーキテクチャ（イメージ）

- 全体アーキテクチャは、①価値、②技術（アプリ層、モデル層、連携・流通層、データ層）、③ガバナンスで構成。

5. 取組の方向性



① 地理空間情報×AI

- ・ 「地理空間情報を適切に処理できるAI」の開発・利用を検討
- ・ ジオAIに係るユースケースの創出 ・基礎研究・共同研究の推進 等

② AI-Readyなデータ

- ・ 地理空間情報のオープンデータ化・AI-Ready化指針（品質及び信頼性の確保）の策定
- ・ 公的地理空間情報（国土数値情報、3次元データ等）の整備・更新・AI-Ready化 等

③ データ連携・流通基盤

- ・ G空間情報センターのAI拠点化
例) MCP・RAGなどの技術を用いたAI検索・探索環境の開発・提供
- 例) 空間IDや不動産ID等の提供
- ・ G空間情報センターをハブに「G空間データベース(仮称)」を形成 等

④ ガバナンス

- ・ 信頼性担保・セキュリティ・プライバシー等に関する課題の検討 等

⑤ 人材育成

- ・ G空間EXPOやイチBizの活用
- ・ GISとAI研究コミュニティの連携 等

「ジオAI研究会」の開催概要

研究会の構成員 (50音順・敬称略・◎は座長)

【委員】

- 井上 陽介 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会G空間情報センターセンター長
- 大橋 弘 東京大学大学院経済学研究科教授
- 川島 邦之 一般社団法人LBMA Japan代表理事
- 河端 瑞貴 慶應義塾大学経済学部教授
- 清田 陽司 麗澤大学工学部教授/人工知能学会理事
- 久保 信明 東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授(令和8年3月まで)
- 越塚 登 東京大学大学院情報学環教授
- 坂下 哲也 一般財団法人日本情報経済社会推進協会常務理事
- ◎柴崎 亮介 麗澤大学副学長/東京大学大学院情報学環・学際情報学府特任教授
- 島崎 康信 株式会社パスコ研究開発センター未来創造グループグループ長
- 高瀬 啓司 ESRIジャパン株式会社ソリューション開発グループ課長
- 布施 孝志 東京大学大学院工学系研究科教授

【オブザーバー】

- 公益財団法人 日本測量調査技術協会
- 一般社団法人 地理情報システム学会

【関係省庁】

- 内閣官房デジタル行財政改革会議事務局
- 内閣府科学技術イノベーション推進事務局
- 内閣府宇宙開発戦略推進事務局
- 総務省
- 経済産業省
- 国土交通省

【事務局】

- 内閣官房地理空間情報活用推進室 (G空間室)
- 国土交通省政策統括官付地理空間情報課
- 国土地理院防災・地理空間情報企画センター地理空間情報企画課

各研究会の概要

○ 第1回研究会：2026年2月9日開催

◆ 主な議論内容：

- ・ジオAIに関する取り組みを推進する際の「論点・課題」の洗い出し
- ・委員からの発表

◆ 発表委員：

- ・麗澤大学/東京大学大学院 柴崎委員
- ・麗澤大学 清田委員
- ・ESRI ジャパン株式会社 高瀬委員
- ・株式会社パスコ 島崎委員
- ・社会基盤情報流通推進協議会G空間情報センター 井上委員

○ 第2回研究会：2026年3月27日開催

◆ 主な議論内容：

- ・ジオAIに関する取り組みを推進する際の「論点・課題」の整理
- ・「取組の方向性」の検討
(主に「ジオAIの未来・価値」、「実装・エコシステム」について)
- ・産学官ヒアリング① (主に利用者サイド)

◆ ヒアリング先：

- ・川崎重工業株式会社
- ・LocationMind株式会社
- ・つくるAI株式会社
- ・東京大学 日立東大ラボ
- ・一般社団法人 LBMA Japan 川島委員
- ・公益財団法人日本測量調査技術協会 (オブザーバー)
- ・国立研究開発法人防災科学技術研究所

○ 第3回研究会：2026年4月20日開催

◆ 主な議論内容：

- ・「取組の方向性」の検討
(主に「ジオAIのモデル」、「データ整備」、「データ連携・流通」、「進め方 (ガバナンスなど)」について)
- ・産学官ヒアリング②
(AIモデルやデータ整備、データ連携・流通環境の提供者サイド)

◆ ヒアリング先：

- ・株式会社Preferred Networks
- ・ソフトバンク株式会社
- ・一般社団法人地理情報システム学会 (オブザーバー)
- ・一般財団法人日本情報経済社会推進協会 坂下委員
- ・東京大学大学院 越塚委員

○ 第4回研究会：2026年5月25日開催

◆ 主な議論内容：

- ・中間整理案の確認

ジオ AI 研究会 構成員名簿

【委員】(◎：座長)

(敬称略、五十音順)

井上 陽介	G空間情報センターセンター長/PwC コンサルティング合同会社ディレクター
大橋 弘	東京大学大学院経済学研究科教授
川島 邦之	一般社団法人 LBMA Japan 代表理事
河端 瑞貴	慶應義塾大学経済学部教授
清田 陽司	麗澤大学工学部教授/人工知能学会理事
久保 信明 (2026年3月まで)	東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授
越塚 登	東京大学大学院情報学環教授
坂下 哲也	一般財団法人日本情報経済社会推進協会常務理事
◎ 柴崎 亮介	麗澤大学副学長/東京大学大学院情報学環・学際情報学府特任教授
島崎 康信	株式会社パスコ研究開発センター未来創造グループグループ長
高瀬 啓司	ESRI ジャパン株式会社ソリューション開発グループ課長
布施 孝志	東京大学大学院工学系研究科教授

【オブザーバー】

公益財団法人日本測量調査技術協会
一般社団法人地理情報システム学会

【関係省庁】

内閣官房デジタル行財政改革会議事務局
内閣府科学技術イノベーション推進事務局
内閣府宇宙開発戦略推進事務局
総務省
経済産業省
国土交通省

【事務局】

内閣官房地理空間情報活用推進室
国土交通省政策統括官付地理空間情報課
国土交通省国土地理院防災・地理空間情報企画センター地理空間情報企画課